

## 平成 20 年度オフセット・クレジット(J-VER)創出モデル事業の採択について (お知らせ)

平成 21 年 1 月 13 日(火)  
環境省地球環境局地球温暖化対策課  
市場メカニズム室  
直通:03-5521-8354  
代表:03-3581-3351  
室長 : 高橋 康夫(6737)  
担当 : 吉崎 仁志(6785)  
担当 : 泉 勇気(6041)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

- 環境省では、国全体を低炭素社会へとシフトする上で重要な手段の一つであるカーボン・オフセットの取組を普及・促進するため、平成 20 年 11 月 14 日にオフセット・クレジット (J-VER) 制度 (以下、「本制度」という。) を創設いたしました。
- また、同日付けで、本制度を活用して市場ニーズの高いオフセット・クレジット (J-VER) を創出するプロジェクトのアイデアをモデル事業として募集いたしました (募集期間は、11 月 14 日~12 月 5 日。)
- 本公募に対しては 34 件の応募があり、専門家からなる審査委員会の意見を頂きながら選定を行ったところ、(1) 化石燃料から間伐材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替、(2) 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替、(3) 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのボイラー燃料代替、(4) 小水力発電による系統電力代替、(5) 廃食油由来のバイオマス燃料製造、(6) 下水汚泥由来のバイオマス燃料製造の合計 6 種類のプロジェクト (案件数は 9 件) の採択を決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. オフセット・クレジット (J-VER) 制度とは

本制度は、国内のプロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いることのできるオフセット・クレジット (J-VER) として認証する制度であり、これにより、個人、企業、自治体等による主体的なカーボン・オフセットの取組を促進することが期待されています。

#### 【(参考) オフセット・クレジット (J-VER) 制度について】

オフセット・クレジット (J-VER) 制度については、下記の環境省 HP 及び気候変動対策認証センター (事務局: 社団法人海外環境協力センター) HP を御覧ください。

- ・ 環境省 HP [http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)
- ・ 気候変動対策認証センター <http://www.4cj.org/jver/index.html>

## 2. 本モデル事業の目的と概要

本モデル事業は、本制度に基づいて市場ニーズの高いオフセット・クレジット（J-VER）を創出するプロジェクトのアイデアを募集するものです。

モデル事業として採択されたプロジェクトをもとに、オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会がポジティブリスト、適格性基準、方法論を策定することとしております。

## 3. 採択の基準

主に以下の事項について評価し、採択を行いました。

- 市場流通型のクレジットとしての要件を勘案して、オフセット・クレジット（J-VER）制度に則したプロジェクト種類として、追加性の考え方（本制度が存在しなかった場合には実施されなかったプロジェクトか）、排出削減量の算定方法、モニタリング方法等の提案は妥当なものか。第三者の検証に耐えうるものか。
- 提案されたプロジェクトが採択された場合、また、当該プロジェクト及びプロジェクトに基づく方法論が本制度の対象として位置づけられた場合、他の市民、企業等による主体的な排出削減努力、具体的な地球温暖化対策の実施を呼び起こす契機となるか。その政策的効果として大幅な排出削減量が見込めるポテンシャルがあるか。
- 温室効果ガス排出削減以外のコベネフィット（経済発展など他の分野における好影響）としてどのようなものがあるか。それは政策的に意義あるものか。また、プロジェクト自体は環境社会影響評価上問題ないか。
- プロジェクトとしての実現可能性は高いか。

なお、応募要領に基づき、採択・不採択の理由については非公表としておりますので、お問い合わせには応じられません。

## 4. 採択事業者一覧（全9件）

- (1) 化石燃料から間伐材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替
  - ・ 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所
  - ・ 北海道網走郡美幌町
- (2) 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替
  - ・ 株式会社クレコ・ラボ
  - ・ 高知県梶原町
- (3) 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのボイラー燃料代替
  - ・ 北海道上川郡下川町
  - ・ 株式会社クレコ・ラボ（（2）と同一の申請）
  - ・ 株式会社 相愛
  - ・ 高知県梶原町（（2）と同一の申請）
- (4) 小水力発電による系統電力代替

- ・高知県梶原町
- (5) 廃食油由来のバイオマス燃料製造
  - ・北海道石狩郡当別町地域公共交通活性化協議会
- (6) 下水汚泥由来のバイオマス燃料製造
  - ・バイオソリッドエナジー株式会社

※各事業の概要については別紙参照

## 5. 今後の予定について

今回モデル事業として採択されたプロジェクトをもとに、ポジティブリスト、適格性基準、方法論案を策定し、年度内を目途にパブリック・コメントにかける予定としております。その上で、オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会において、ポジティブリスト等を確定し、公表いたします。

また、今回採択されたプロジェクトをもとに策定するポジティブリスト等以外に、ポジティブリスト、適格性基準及び方法論等の提案を希望される方は、気候変動対策認証センター（事務局：社団法人海外環境協力センター）において御意見を受け付けておりますので、随時御提出ください。

[http://www.4cj.org/jver/document/jver\\_opinion\\_081208.pdf](http://www.4cj.org/jver/document/jver_opinion_081208.pdf)

平成 20 年度 オフセット・クレジット（J-V E R）創出モデル事業  
採択案件の概要

プロジェクトタイトル	事業者	事業概要	所在地
化石燃料から間伐材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替	特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所	長野県産の木質ペレットのストーブでの使用	長野県伊那市
	北海道網走郡美幌町	化石燃料を使用している町内の公共施設に木質ペレットストーブを設置。一般住宅・事業所に木質ペレットストーブをレンタル	北海道網走郡美幌町
化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替	株式会社クレコ・ラボ	協同組合西川地域木質資源活用センターで製造するペレットをペレットストーブのリースとセットで販売し、化石燃料を代替	東京都千代田区
	高知県梶原町	製材の端材等を用いて木質ペレットを製造し、家庭用ストーブ等に利用	高知県梶原町
化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのボイラー燃料代替	北海道上川郡下川町	公共施設等への木質バイオマスボイラーの導入	北海道上川郡下川町
	株式会社クレコ・ラボ	協同組合西川地域木質資源活用センターで製造するペレットをペレットボイラーのリースとセットで販売し、化石燃料を代替(上述の申請と同一の申請)	東京都千代田区
	株式会社 相愛	木質ペレットによるハウス加温	高知県高知市
	高知県梶原町	製材の端材等を用いて木質ペレットを製造し、温泉の給湯ボイラー等に利用(上述の申請と同一の申請)	高知県梶原町
小水力発電による系統電力代替	高知県梶原町	小水力発電施設を設置し中学校や街路灯に活用	高知県梶原町
廃食油由来のバイオマス燃料製造	当別町地域公共交通活性化協議会	廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料をコミュニティバスで使用	北海道石狩郡
下水汚泥由来のバイオマス燃料製造	バイオソリッドエナジー株式会社	公共下水道終末処理場から発生する脱水汚泥を造粒乾燥させてペレット状の固形燃料を生成し、製紙工場の石炭ボイラーの補助燃料として利用	山形県新庄市

# 平成20年度 オフセット・クレジット(J-VER)創出モデル事業 採択事業(9件)について

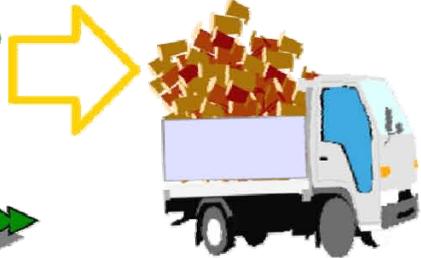
プロジェクトタイトル	事業者	事業概要
化石燃料から間伐材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替	①特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所(長野県伊那市)	長野県産の木質ペレットのストーブでの使用。
	②北海道網走郡美幌町	化石燃料を使用している町内の公共施設に木質ペレットストーブを設置。一般住宅・事業所に木質ペレットストーブをレンタル。
化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替	③(a)株式会社クレコ・ラボ(東京都千代田区)	共同組合西川地域木質資源活用センターで製造するペレットをペレットストーブのリースとセットで販売し、化石燃料を代替。
	④(a)高知県梶原町	製材の端材等を用いて木質ペレットを製造し、家庭用ストーブ等に利用。
化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのボイラー燃料代替	⑤北海道上川郡下川町	公共施設等への木質バイオマスボイラーの導入。
	③(b)株式会社クレコ・ラボ(東京都千代田区)	共同組合西川地域木質資源活用センターで製造するペレットをペレットストーブのリースとセットで販売し、化石燃料を代替(上述の申請と同一の申請)。
	⑥株式会社相愛(高知県高知市)	木質ペレットによるハウス加温。
	④(b)高知県梶原町	製材の端材等を用いて木質ペレットを製造し、温泉の給湯ボイラー等に利用(上述の申請と同一の申請)。
小水力発電による系統電力代替	⑦高知県梶原町	小水力発電施設を設置し中学校や街路灯に活用。
廃食用油由来のバイオマス燃料製造	⑧当別町地域公共交通活性化協議会(北海道石狩郡)	廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料をコミュニティバスで使用。
下水汚泥由来のバイオマス燃料製造	⑨バイオソリッドエナジー株式会社(山形県新庄市)	公共下水道終末処理場から発生する脱水汚泥を造粒乾燥させてペレット状の固形燃料を生成し、製紙工場の石炭ボイラーの補助燃料として利用。

## 化石燃料から間伐材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替

一般家庭や公共施設等において、木質ペレットストーブを設置し、化石燃料から間伐材由来の木質バイオマスにストーブ燃料を代替することで、温室効果ガスの排出量を削減する。



<間伐の実施>



<間伐材の運搬>



<間伐材の木質ペレット化>

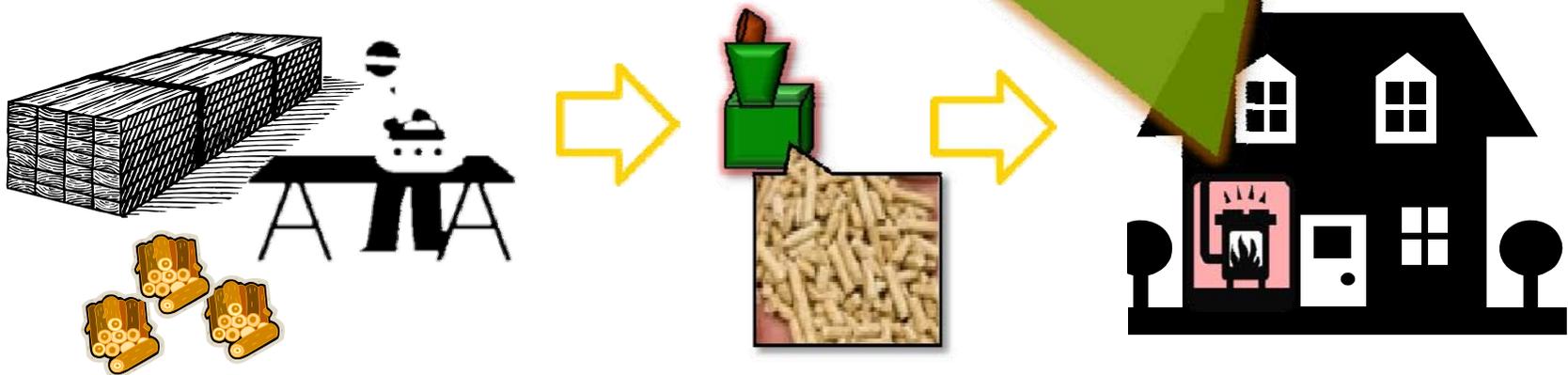


(プロジェクト事業者)

- ・特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所(長野県伊那市)
- ・北海道網走郡美幌町

## 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのストーブ燃料代替

一般家庭や公共施設等において、木質ペレットストーブを設置し、化石燃料から製材端材由来の木質バイオマスにストーブ燃料を代替することで、温室効果ガスの排出量を削減する。



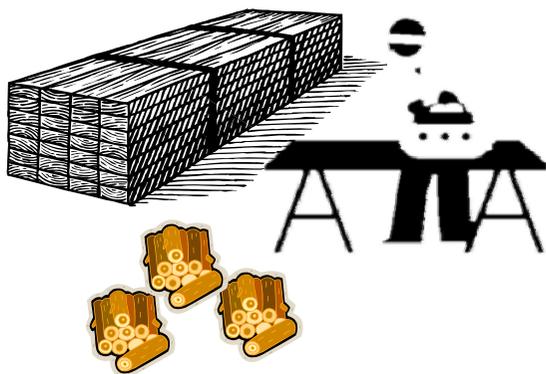
<製材過程における端材の収集・運搬> <製材端材の木質ペレット化>

(プロジェクト事業者)

- ・株式会社クレコ・ラボ(東京都千代田区)
- ・高知県梶原町

## 化石燃料から製材端材由来木質バイオマスへのボイラー燃料代替

公共施設、温泉施設及び農家のビニルハウス等におけるボイラーの燃料について、化石燃料から製材端材由来の木質バイオマスに代替することで温室効果ガスの排出量を削減する。



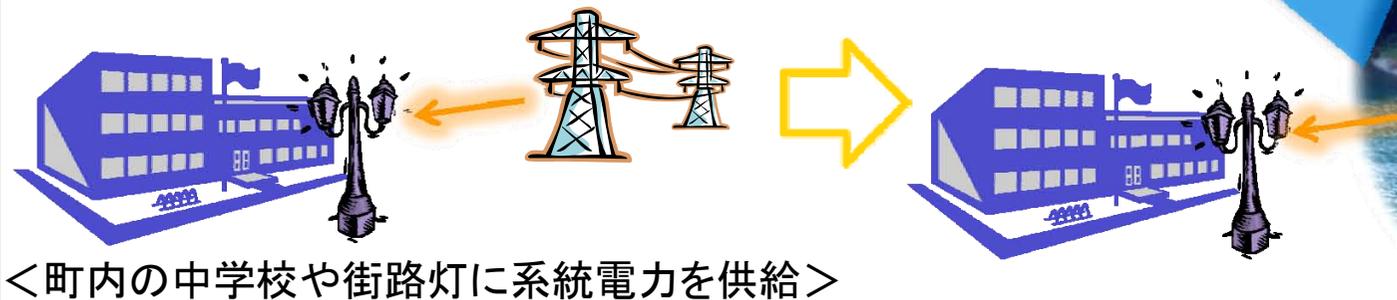
<製材過程における端材の収集・運搬> <製材端材の木質ペレット化>

(プロジェクト事業者)

- ・北海道上川郡下川町
- ・株式会社クレコ・ラボ(東京都千代田区)
- ・株式会社相愛(高知県高知市)
- ・高知県梶原町

## 小水力発電による系統電力代替

小水力発電施設を設置・発電し、町内の中学校や街路灯の系統電力を代替することにより、電力会社からの電力供給量を削減し、電力使用に伴う温室効果ガスの排出量を削減する。

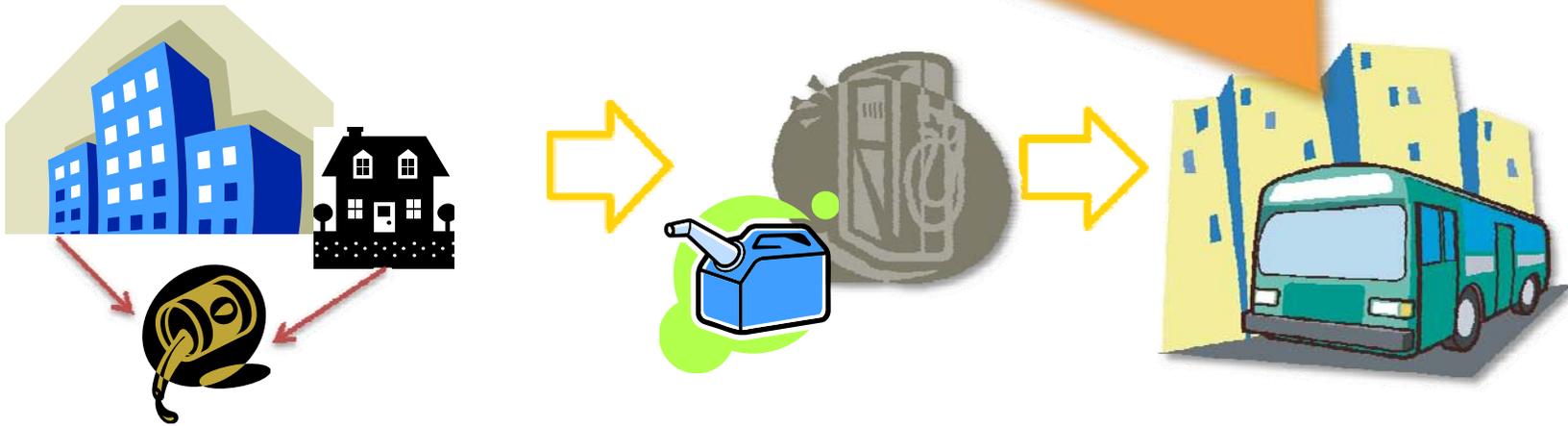


(プロジェクト事業者)

・高知県梶原町

## 廃食油由来のバイオマス燃料製造

地域のコミュニティバスの燃料について、町内の家庭や飲食店等から回収した廃食油を精製して製造したバイオディーゼル燃料で化石燃料を代替することで、バスの運行に伴う温室効果ガスの排出量を削減する。



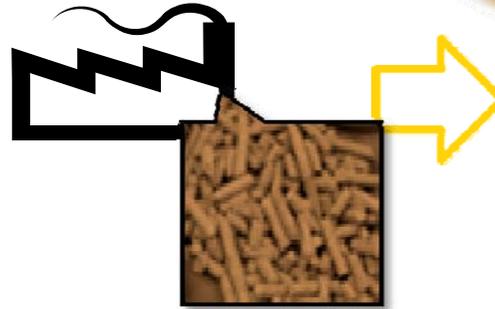
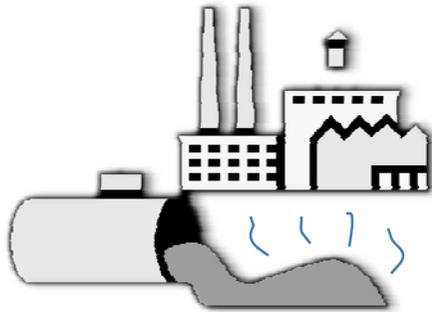
<家庭や飲食店等から廃食油を回収> <廃食油を精製しBDFを製造>

(プロジェクト事業者)

・当別町地域公共交通活性化協議会(北海道石狩郡)

## 下水汚泥由来のバイオマス燃料製造

公共下水道終末処理場から発生する汚泥を脱水・造粒乾燥させてペレット状の固形燃料を生成し、製紙工場の石炭ボイラーの補助燃料として利用することで、ボイラー燃焼に伴う温室効果ガスの排出量を削減。



<下水処理場の下水汚泥を回収> <汚泥を乾燥させて固形燃料を生成>

(プロジェクト事業者)

・バイオソリッドエナジー株式会社(山形県新庄市)